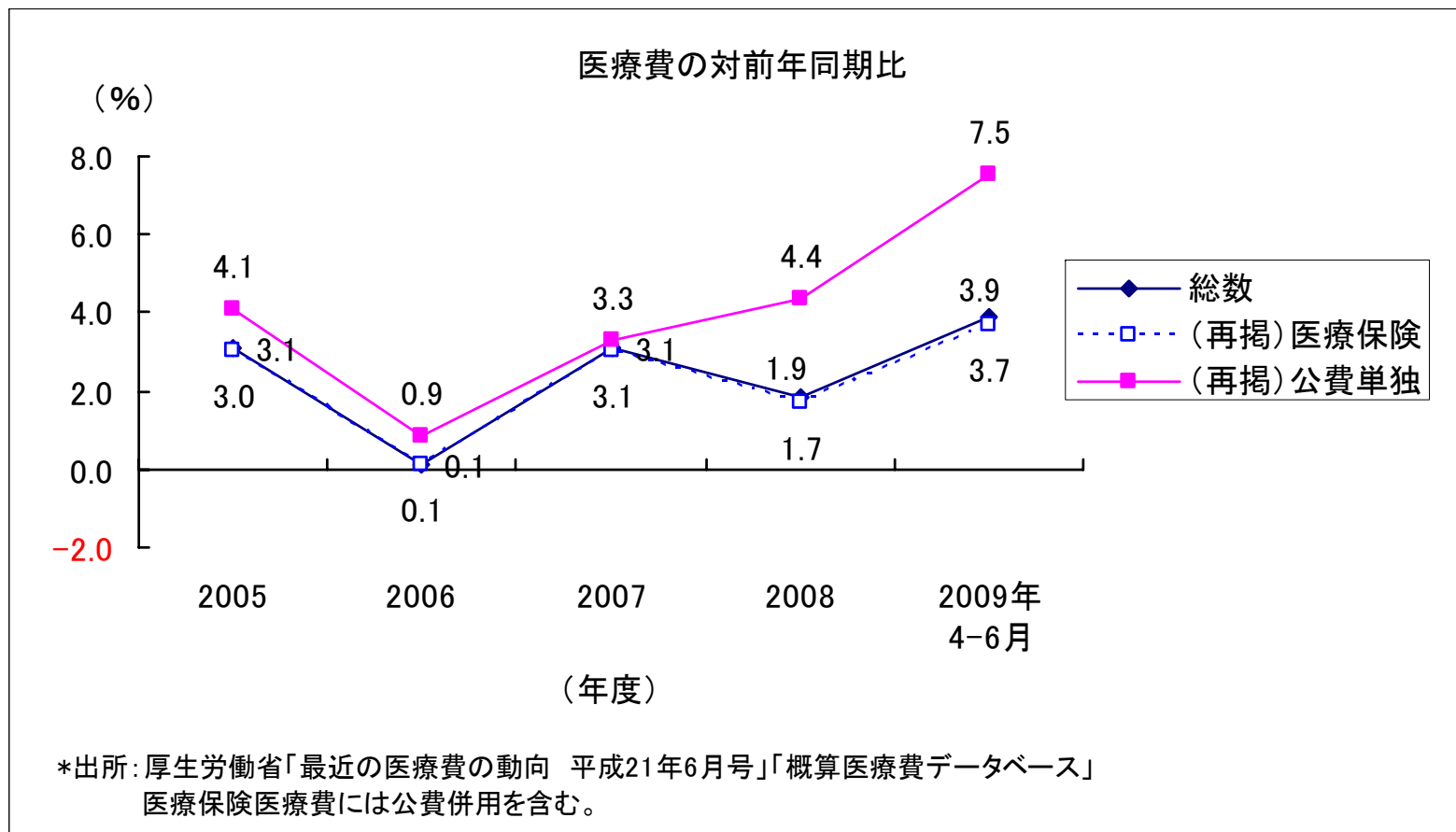


2009年4～6月の医療費動向について

定例記者会見

2009年11月5日
社団法人 日本医師会

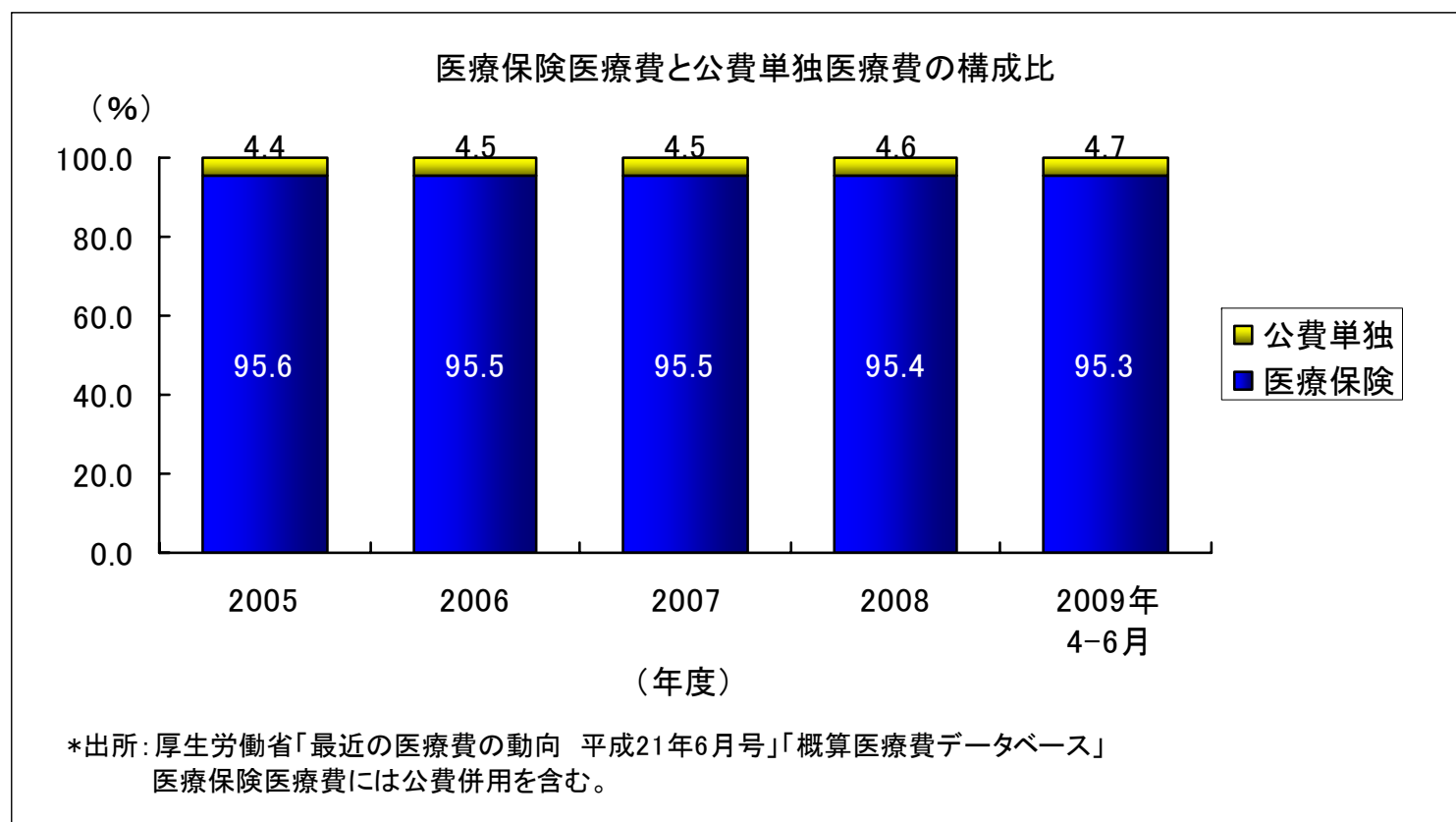
2009年4～6月の医療費の対前年同期比は+3.9%である。このうち、医療保険医療費(含公費併用医療費※注)が+3.7%、公費単独医療費が+7.5%であった。



※注) 公費併用医療費: 公費負担医療と併用がある医療費。たとえば、自立支援医療では、給付費は保険から給付され、原則1割負担であるが、状態によって自己負担の一部が公費で助成される。

医療費に占める公費単独医療費の割合は4.7%であり、それほど大きくない。また、公費単独医療費が増加すれば、医療保険医療費は減少するので※注)、公費単独医療費の伸びが、医療費全体の伸びに大きな影響を与えるわけではない。

しかし、医療費の財源のうち公費負担割合が上昇し、医療保険制度の設計にもかかわってくるので、今後の動向に注目したい。

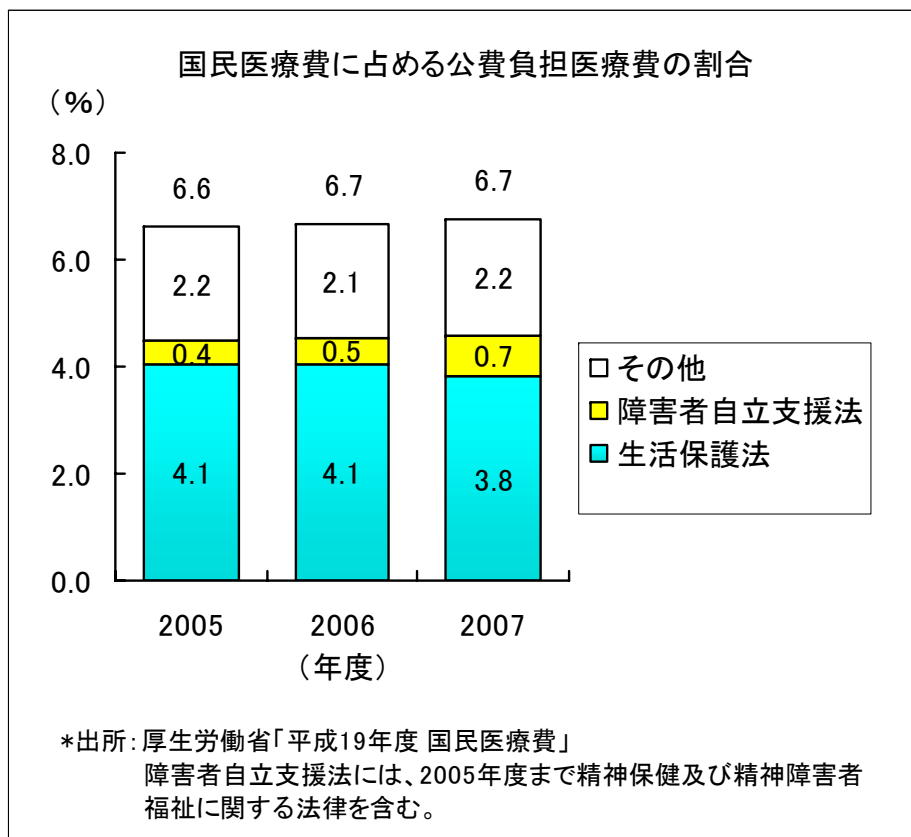


※注)たとえば、生活保護世帯になって医療扶助を受けようになった場合には、国民健康保険や後期高齢者医療制度を離脱するので、医療保険給付費は発生しない。

公費負担医療費

公費負担医療費は、以下に示す法律の下で給付されている。

公費負担医療費の内訳が示されている厚生労働省の「国民医療費」は2007年度分までしか公開されていないが、国民医療費に占める公費負担医療費（公費併用を含む）の割合は6.7%である。さらに公費負担医療費のうち、生活保護法によるものが、57.0%を占めている。



主な公費負担医療の根拠法

- ・生活保護法
- ・障害者自立支援法
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(旧結核予防法)
- ・母子保健法
- ・児童福祉法
- ・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律
- ・身体障害者福祉法
- ・戦傷病者特別援護法
- ・麻薬及び向精神薬取締法

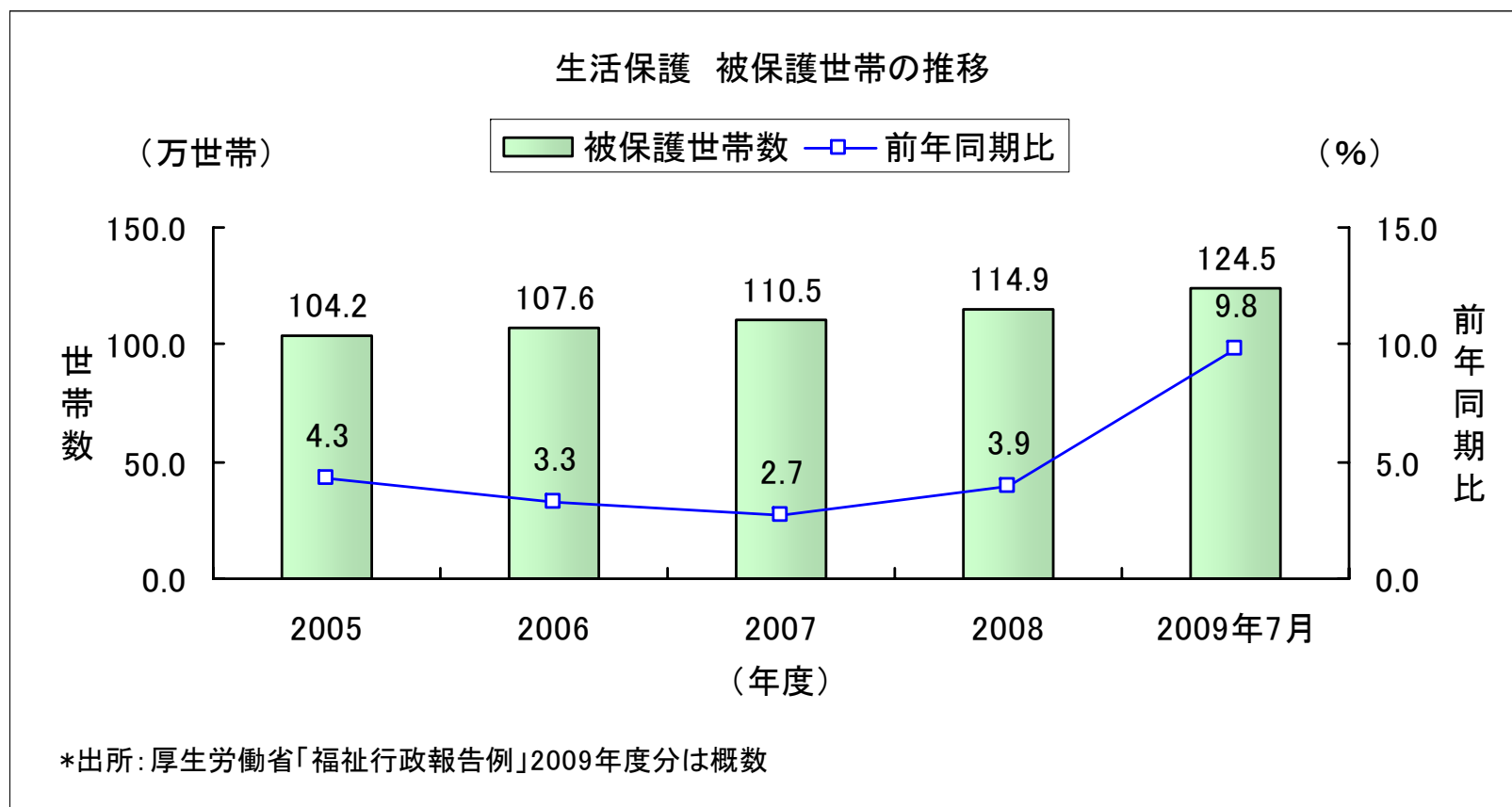
(2008年度以降に創設)

- ・石綿による健康被害の救済に関する法律
- ・肝炎治療特別促進事業

生活保護世帯

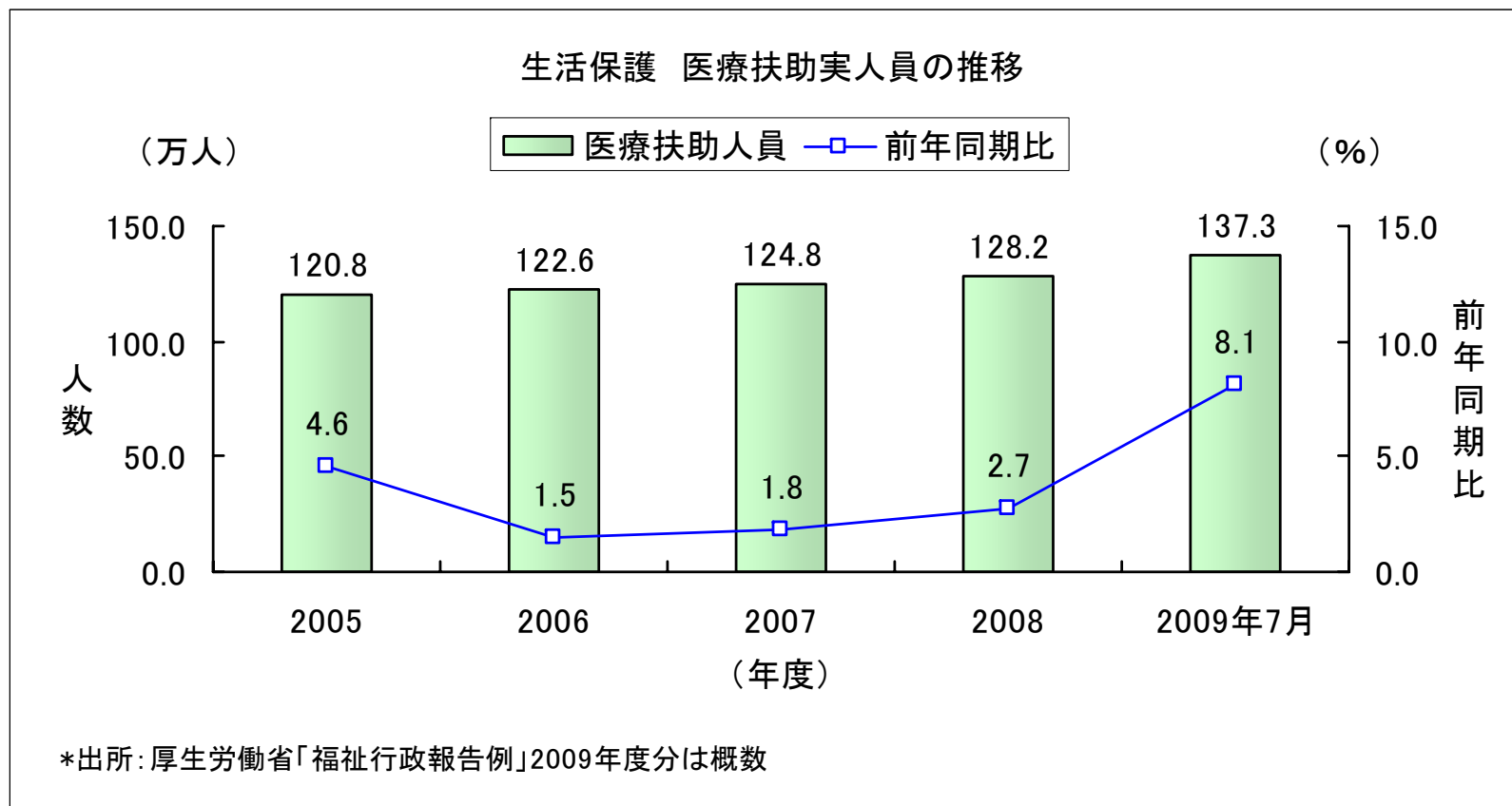
公費負担医療費が増加している背景には、生活保護世帯の増加がある。

生活保護世帯は2009年7月には124.5万世帯に達しており、対前年同月比は+9.8%と大幅な増加を示した。



医療扶助人員

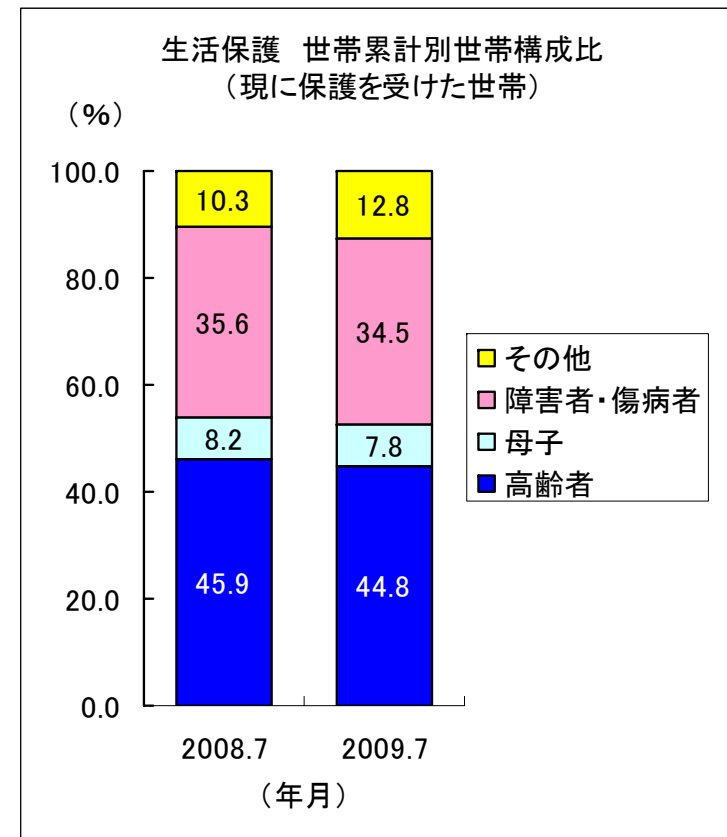
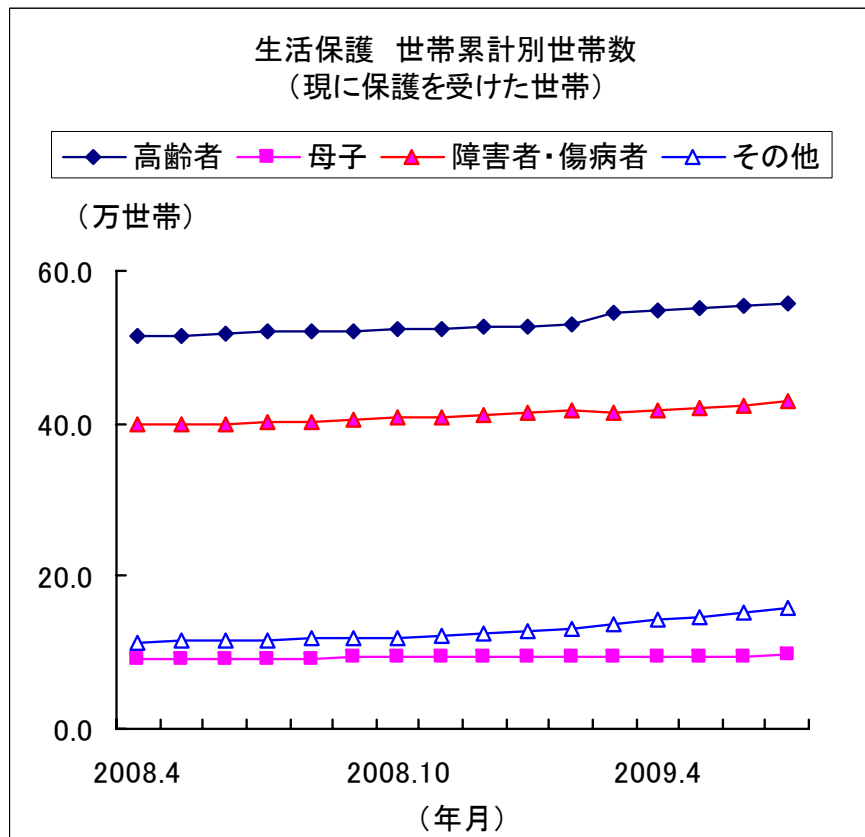
また、生活保護世帯のうち、医療扶助^{※注}を受けているのは、2009年7月には137.3万人であり、対前年同月比は+8.1%であった。



※注) 医療扶助: 生活保護世帯になって医療扶助を受けようになった場合には、国民健康保険や後期高齢者医療制度を離脱するので、医療保険給付費は発生せず、公費から医療扶助として給付される。

生活保護世帯の類型

世帯別では、高齢者世帯が最も多く、かつ増加しているが、ここ1年程度では「その他」の世帯の増加が目立つ。雇用環境の悪化から、生活保護を受ける現役世代が増加していることがうかがえる。2009年7月現在、「その他」世帯の構成比は12.8%である。



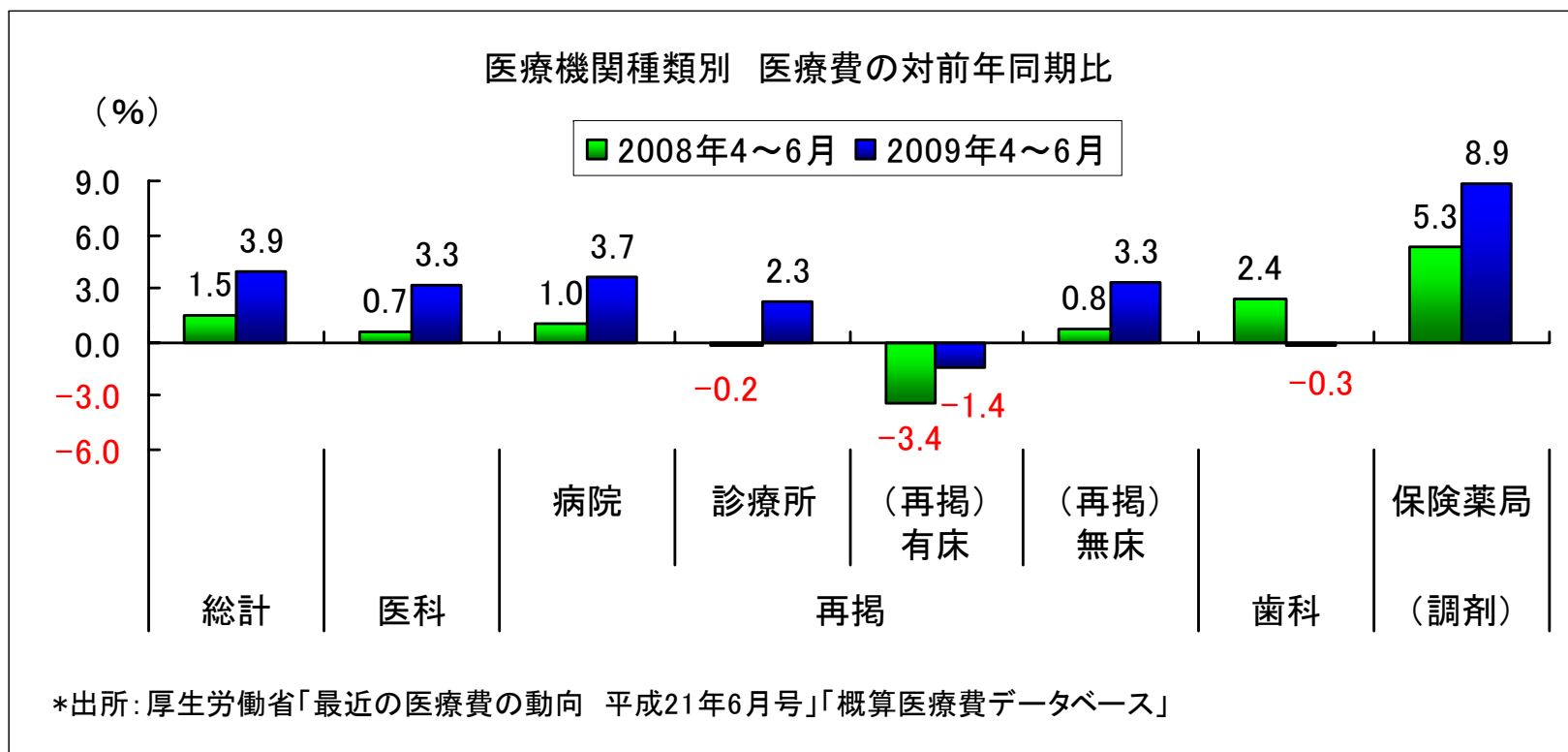
*出所: 厚生労働省「福祉行政報告例」2009年度分は概数

医療費(対前年同期比)

医療費の2009年4～6月の対前年同期比は+3.9%であった。

病院では、2009年4～6月が+3.7%であり、2008年4～6月に比べて+2.7ポイント好転した。診療所は2009年4～6月は+2.3%で、+2.5ポイント好転した。有床診療所は2年つづけてマイナスであるが、有床診療所数が減少しているためである。次に示すように1日当たり医療費は、無床診療所よりも有床診療所の伸びが大きい。

また保険薬局(調剤)は、さらに伸びて2009年4～6月の前年同月比は+8.9%であった。

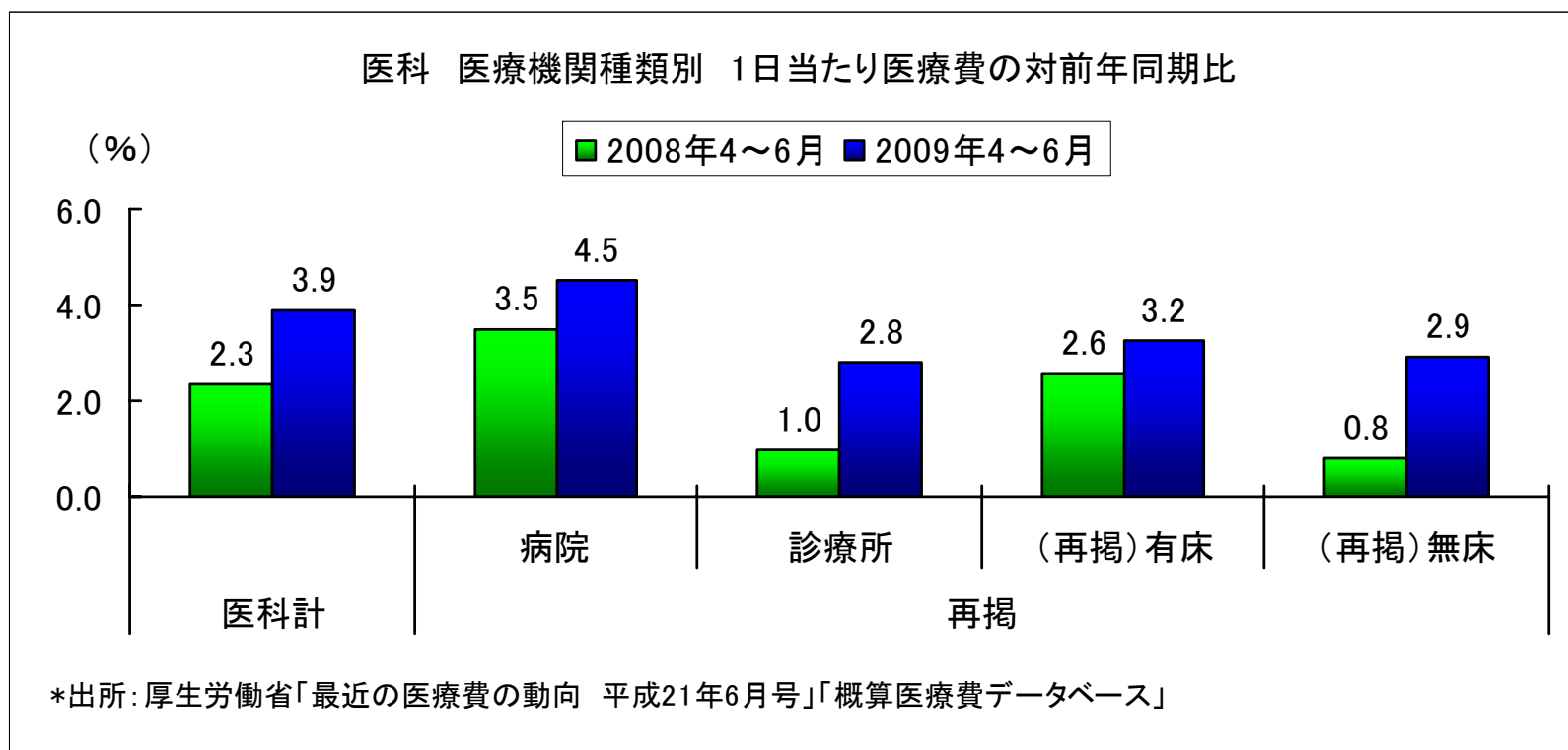


医科 1日当たり医療費(対前年同期比)

病院では2008年4～6月+3.5%、2009年4～6月+4.5%であり、2年通算で+8.1%であった。平均在院日数が短縮されて1日当たり入院医療費が上昇しているほか、診療報酬改定の効果があったのではないかと推察される。

有床診療所は、2008年4～6月+2.6%、2009年4～6月+3.2%であった。病院を下回るものの、無床診療所よりも伸び率が大きかった。

無床診療所は、2008年4～6月+0.8%、2009年4～6月+2.9%であり、以下のカテゴリの中では、もっとも低い伸びであった。

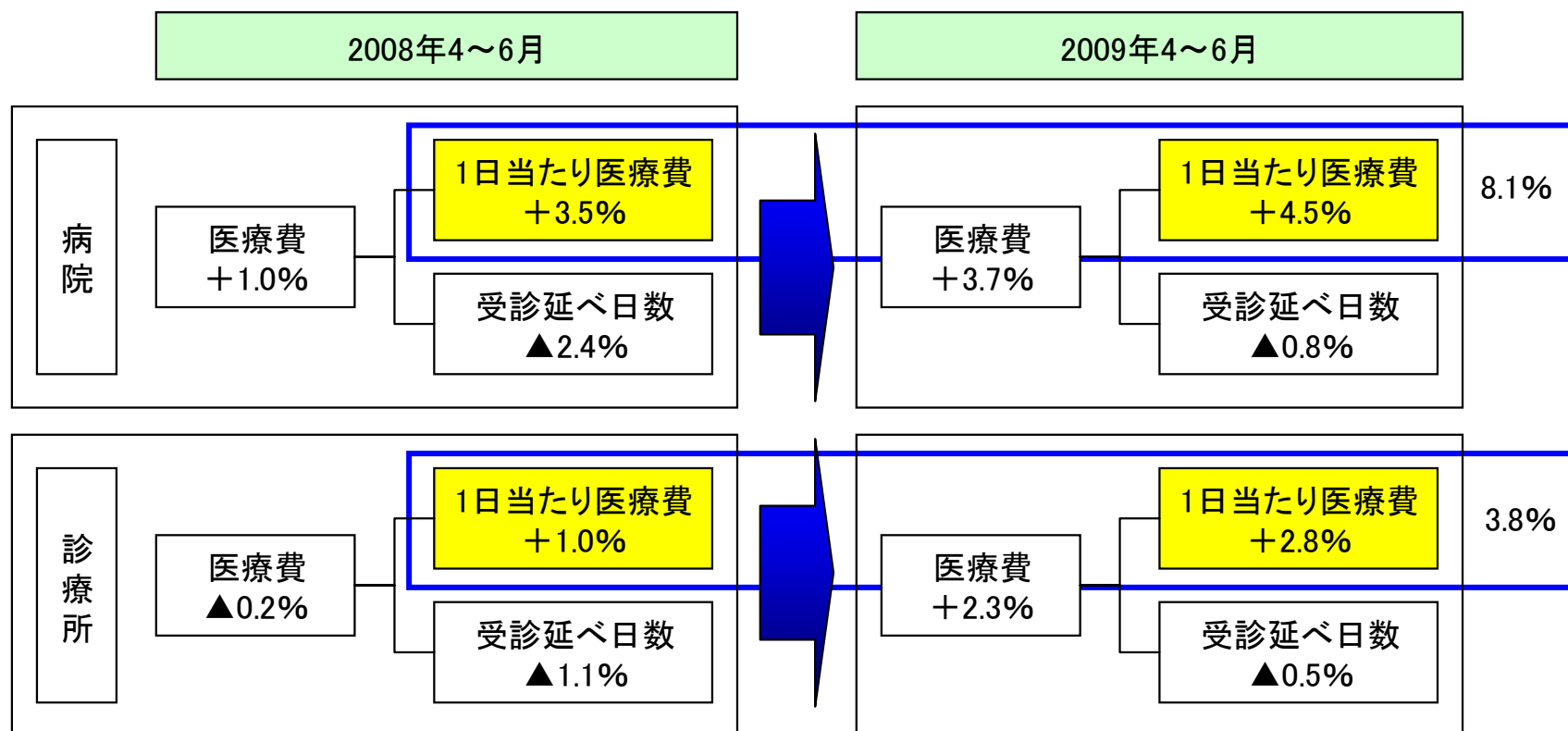


医療費の伸びの要因

2009年4～6月は、1日当たり医療費（診療報酬に相当）が病院で+4.5%、診療所で+2.8%であった。病院では2年通算で8.1%の伸びであった。

また受診延べ日数の伸び率は、病院で2008年4～6月の▲2.4%から、2009年4～6月には▲0.8%に改善した。診療所も▲1.1%から▲0.5%に改善した。

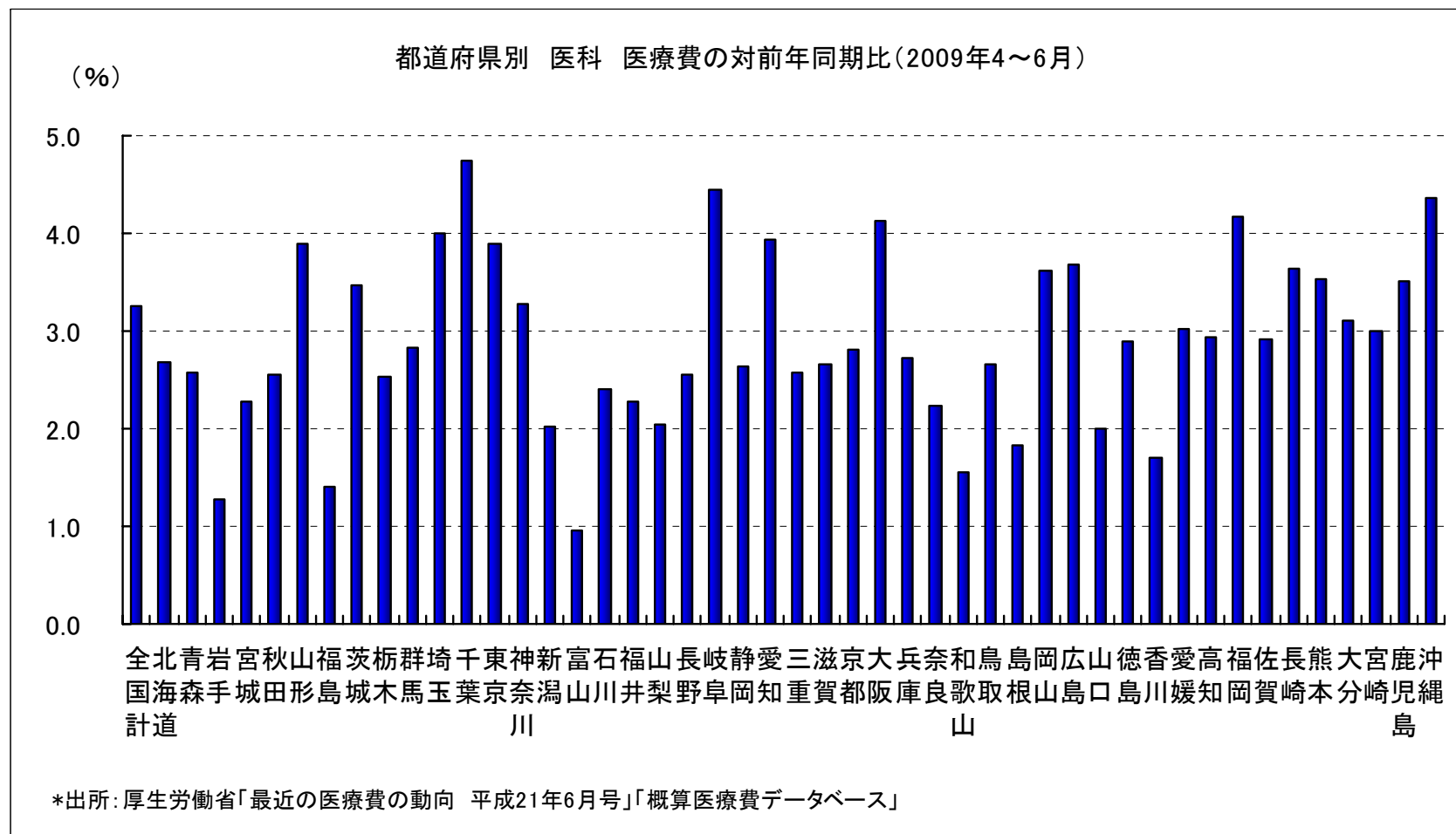
医療費の伸びの分解(対前年同期比)



※休日数等の補正を行っていないので、受診延べ日数は参考値

都道府県別 医科医療費(2009年4～6月前年同期比)

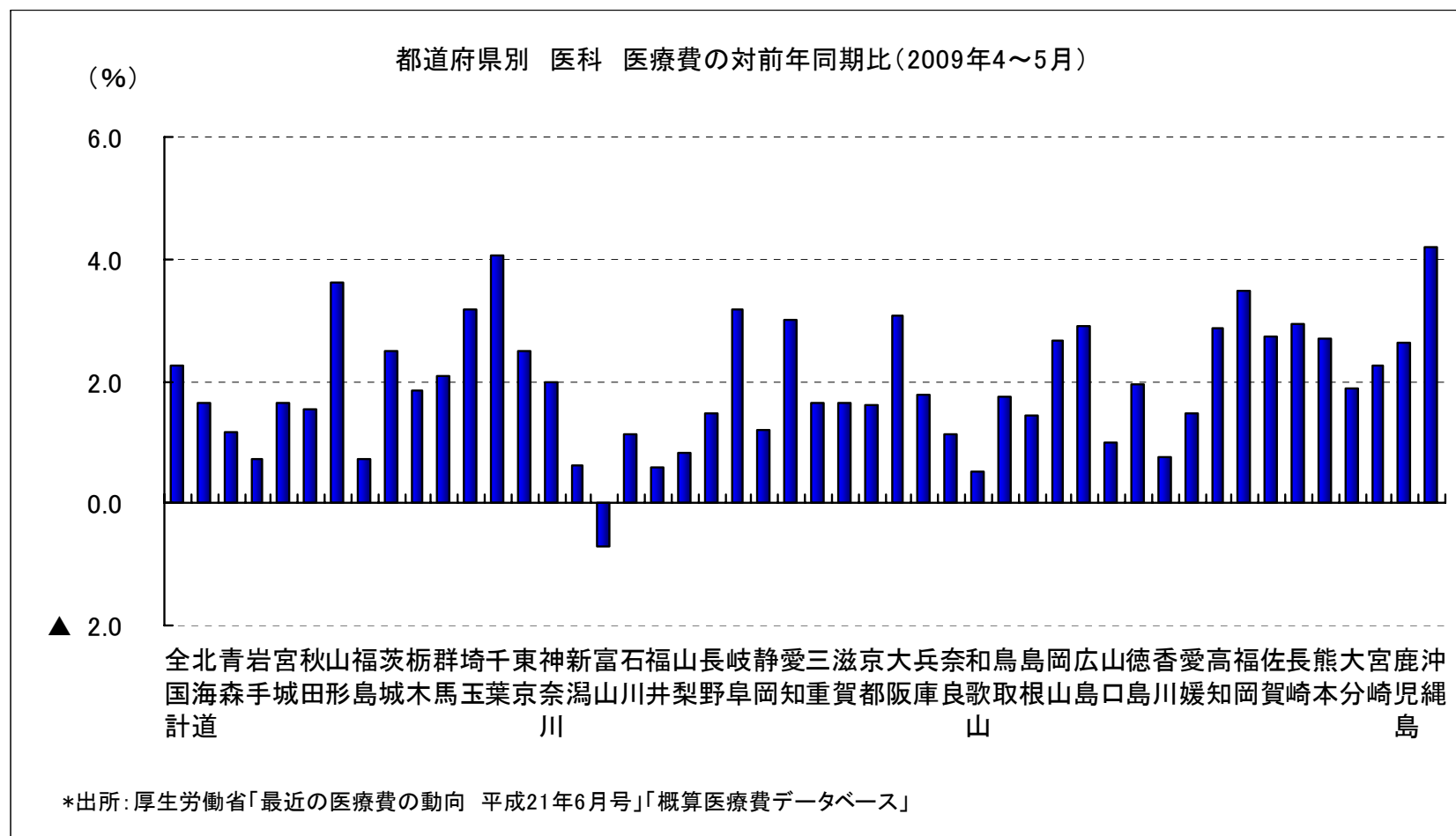
医療費の伸びは、1日当たり医療費と受診延べ日数の伸びによるが、医療費は、沖縄県などで伸びている。一部に、新型インフルエンザの影響もあるのではないかと推察される。



都道府県別 医科医療費(2009年4~5月前年同期比)

2009年4~5月分で見ると、もっとも高いのは沖縄県であった。

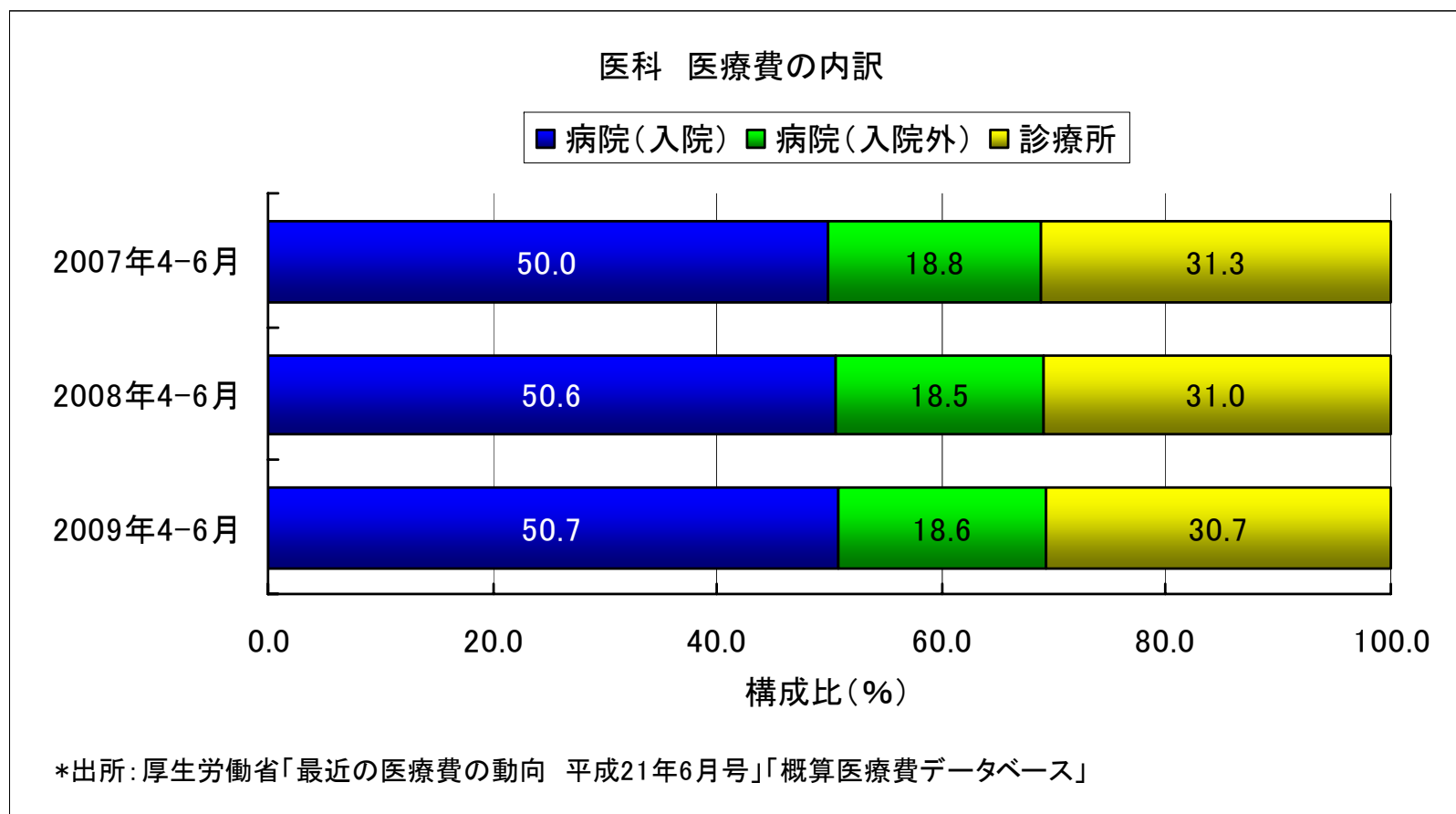
今後当面は新型インフルエンザの影響があることも考慮して、医療費の増減を見ていく必要があると考えられる。



医療費の病院・診療所別構成比

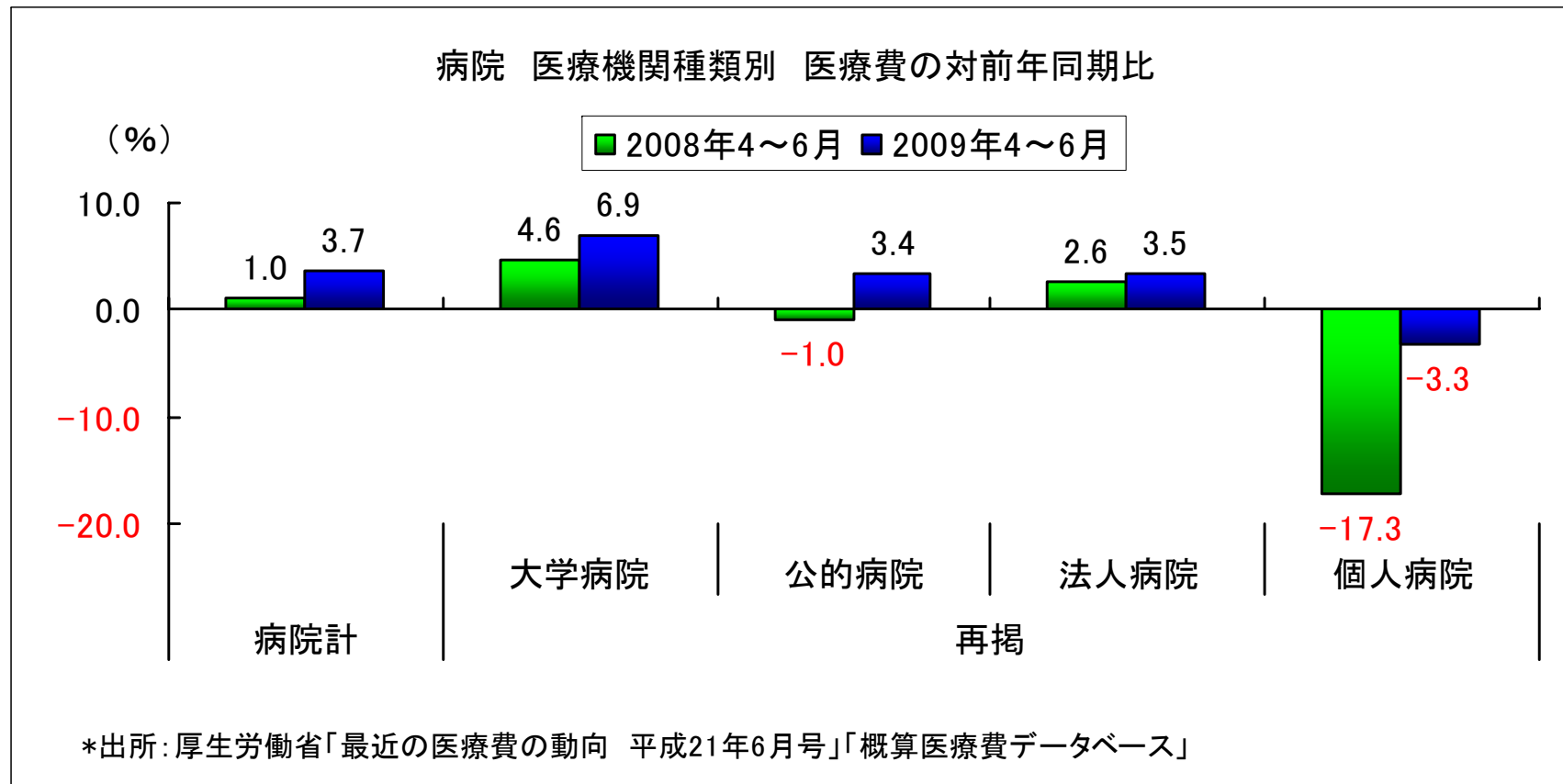
病院の医療費が増加しており、特に入院医療費の構成比が高まっている。

病院の入院医療費は、2007年4～6月には医科診療費の50.0%であったが、2009年4～6月には50.7%になっている。逆に、診療所の医療費の構成比は2007年4～6月には31.3%あったが、2009年4～6月には30.7%になった。



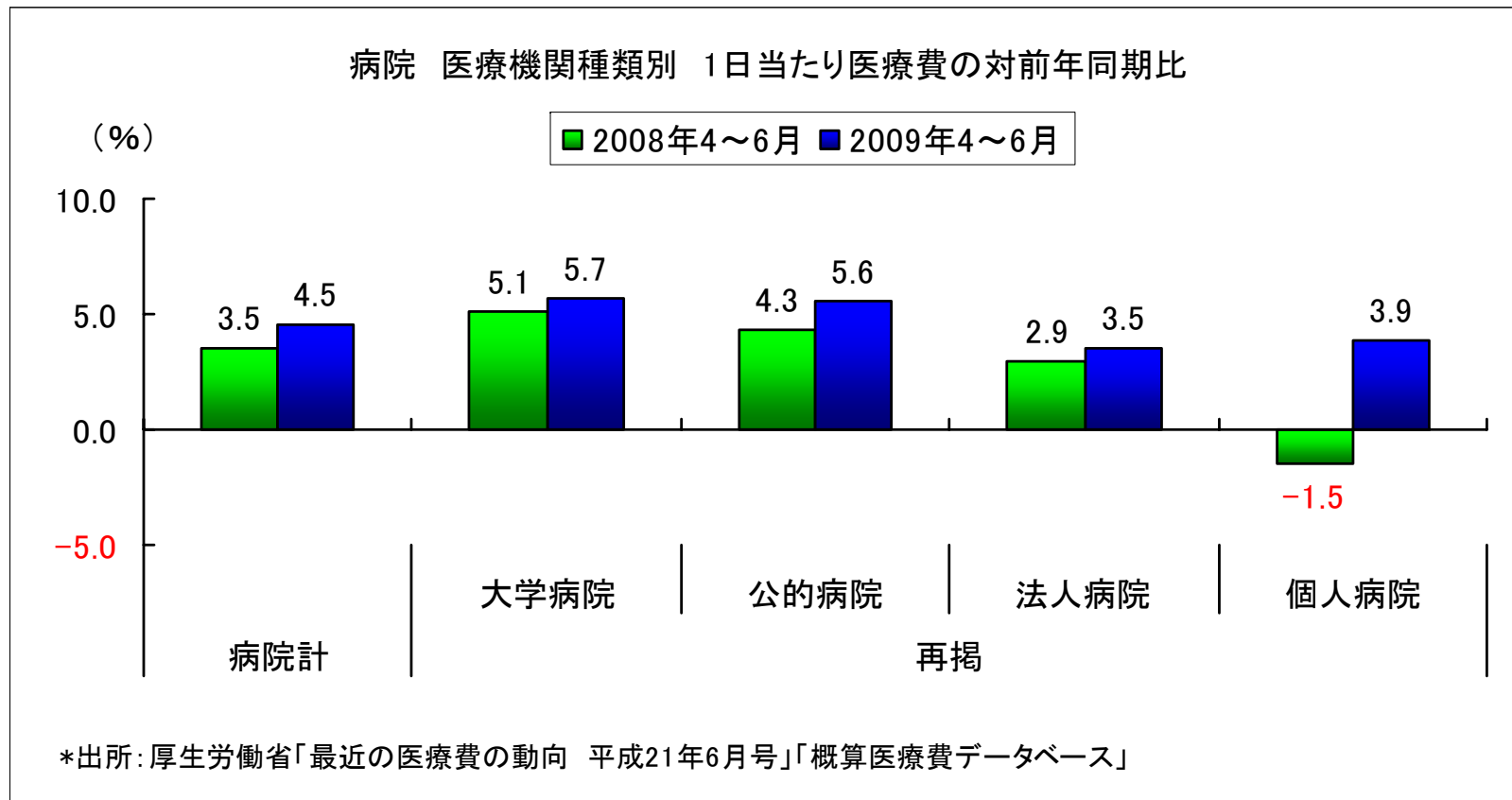
病院の医療機関種別医療費(対前年同期比)

大学病院は2008年4～6月に+4.6%、2009年4～6月に+6.9%であり、4～6月分については2年間累計で10%以上増加した。また公的病院は、2008年には前年比マイナスであったが、2009年には+3.4%になった。公的病院数の減少にやや歯止めがかかっているほか、1日当たり医療費も上昇しているためである。



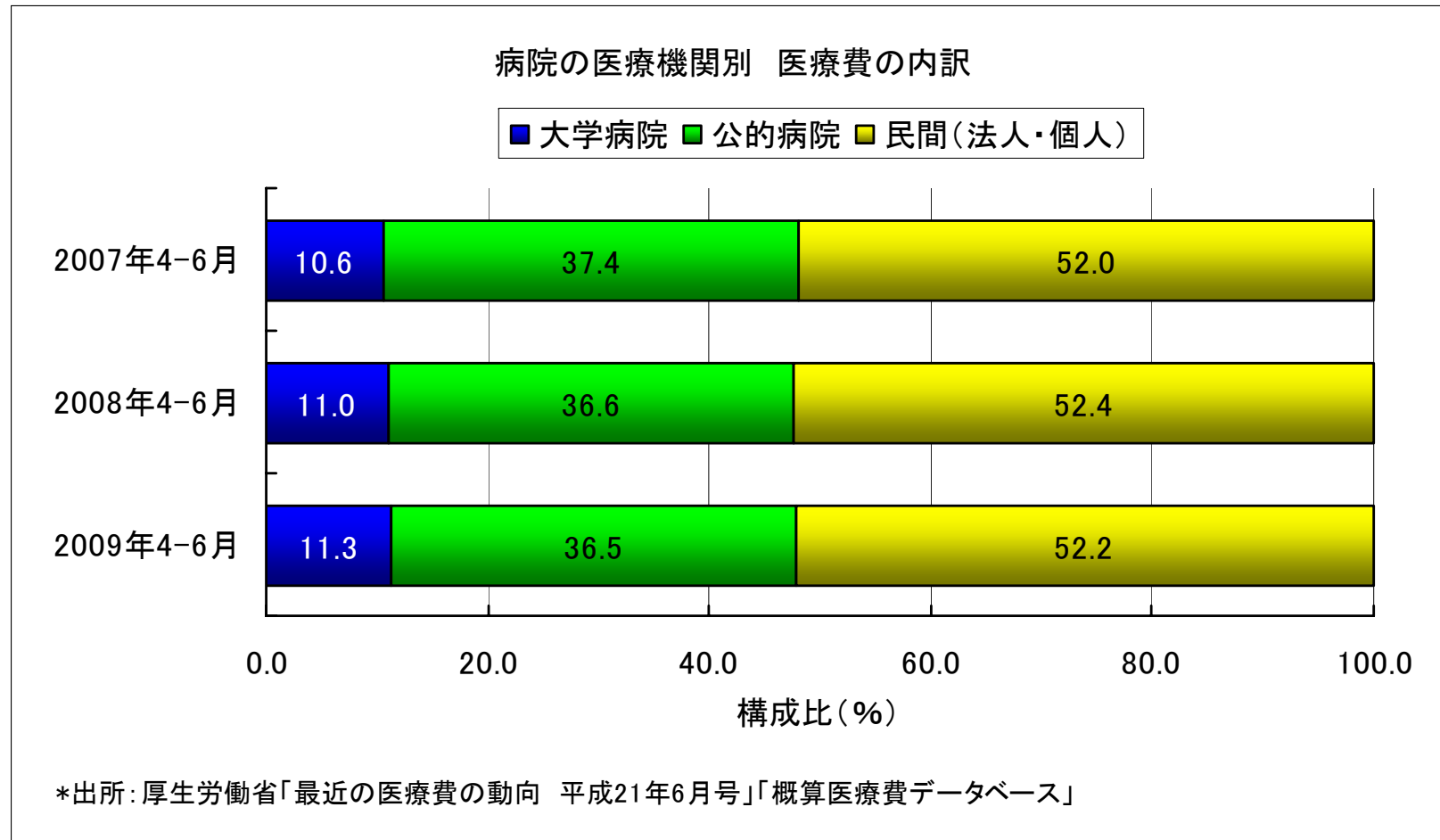
病院の医療機関種別別 1日当たり医療費(対前年同期比)

公的病院の医療費の増加は、1日当たり医療費の増加によるところが大きい。公的病院では2009年4～6月の1日当たり医療費は+5.6%であり、大学病院なみに増加している。



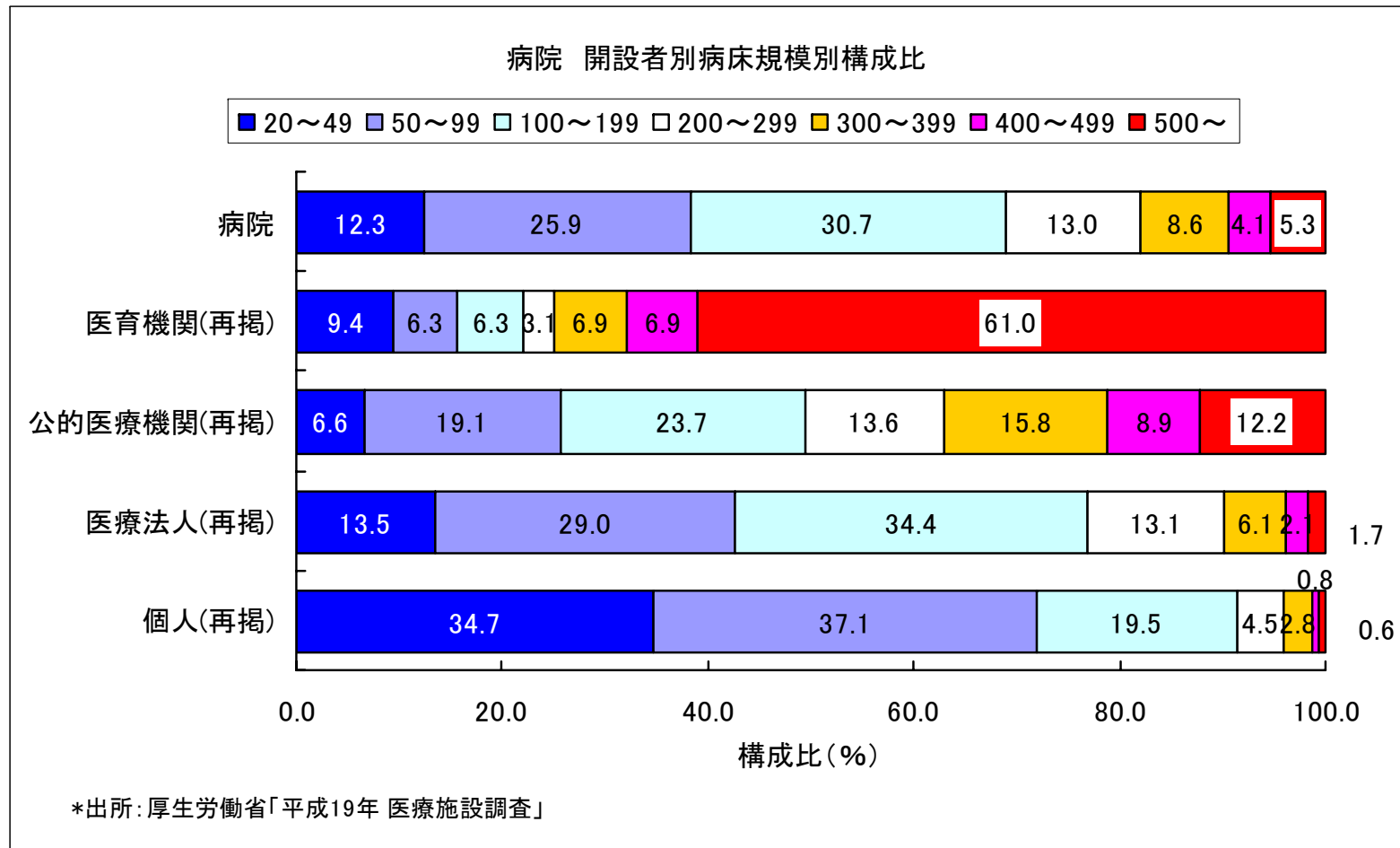
病院の医療機関種別別 医療費構成

大学病院の医療費が増加しているため、病院医療費に占める大学病院の割合が高まっている。2007年4～6月は、大学病院の医療費の割合は10.6%であったが、2009年4～6月には11.3%である。



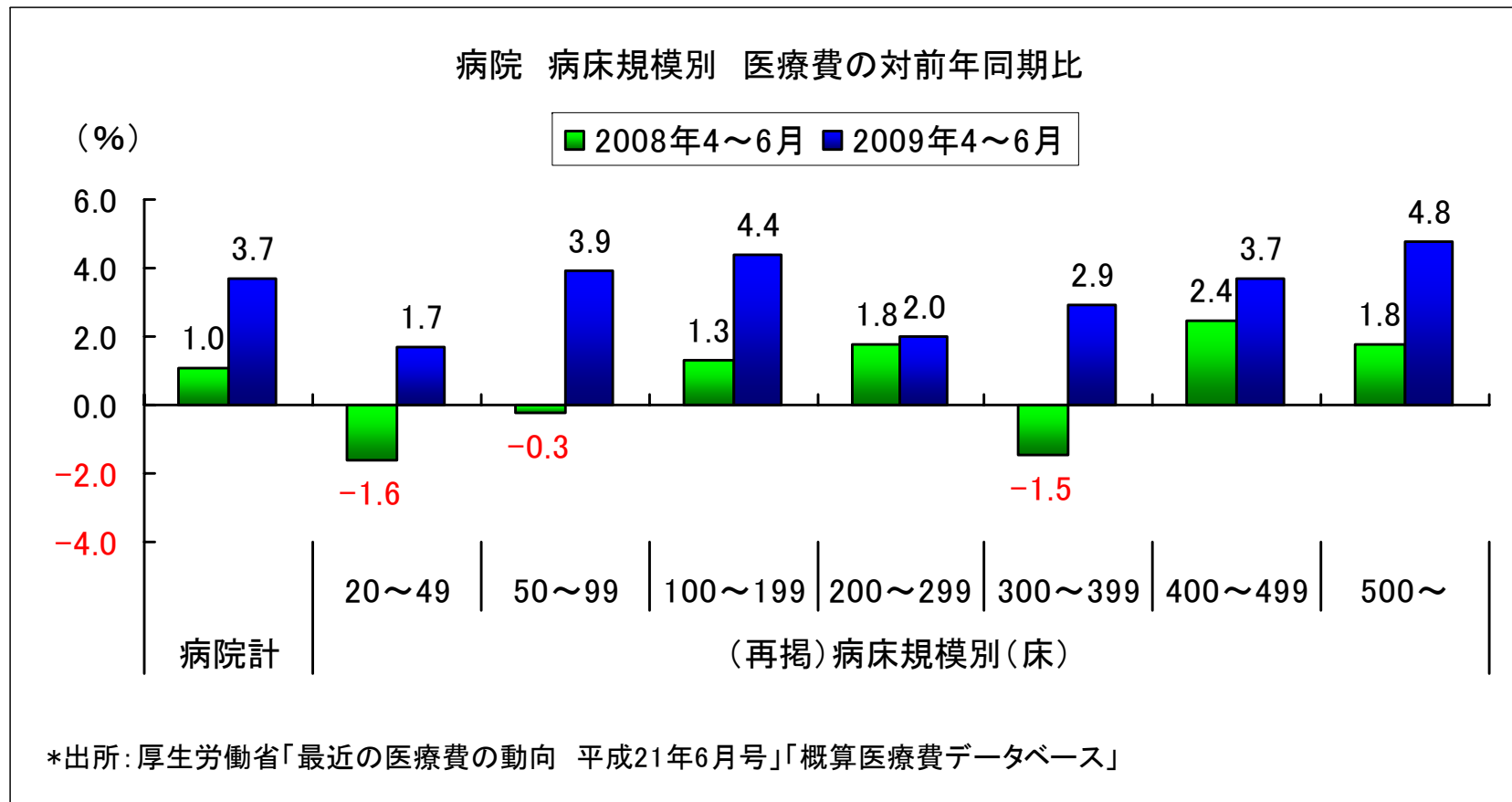
病院の開設者別病床規模別構成比

大学病院や公的病院の医療費が伸びているが、大学病院や公的病院は大規模の病院が多い。500床以上の病院の構成比は、大学病院(医育機関)61.0%、公的病院12.2%、医療法人1.7%、個人0.6%である。



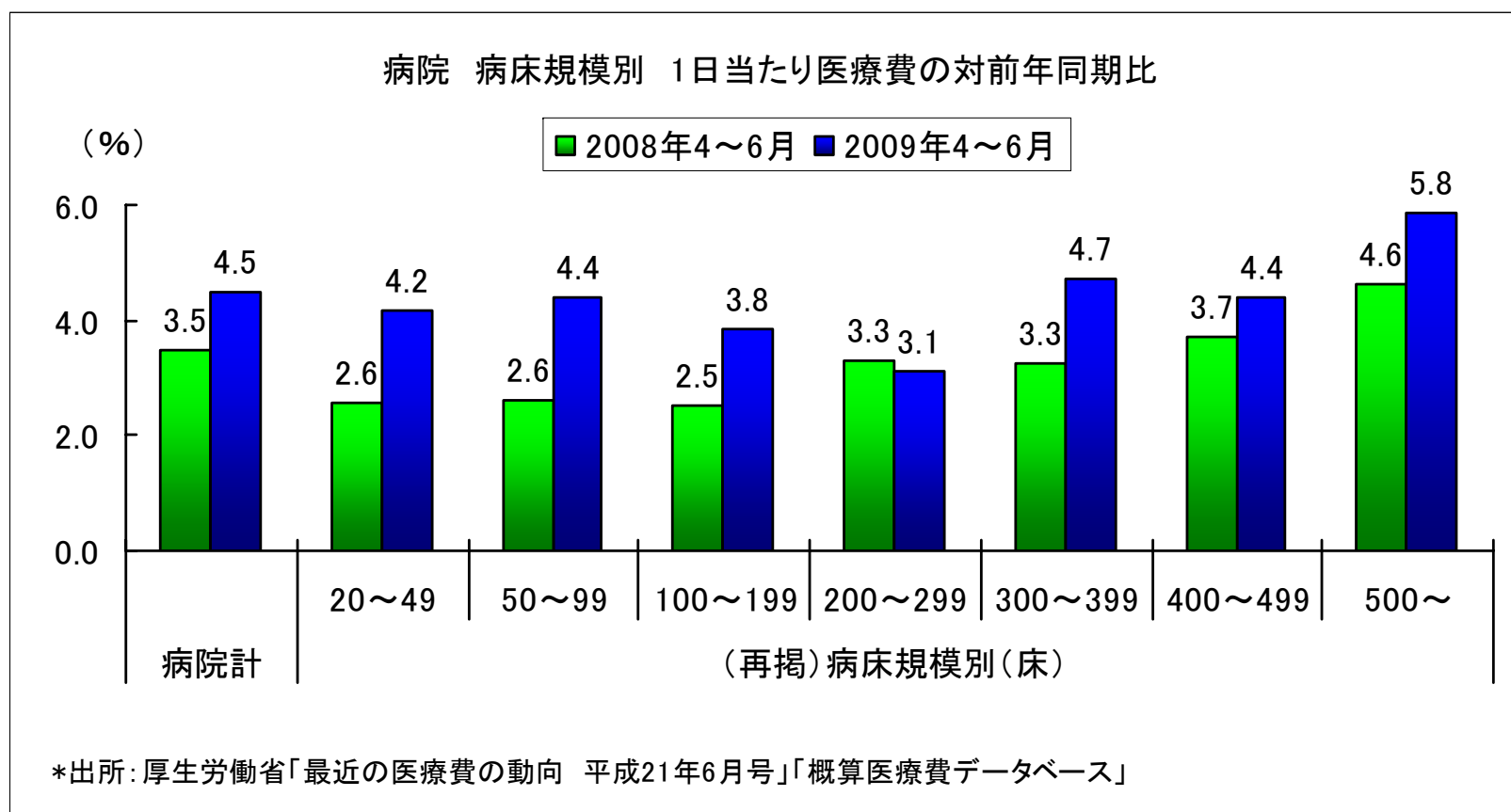
病院の病床規模別医療費(対前年同期比)

前年2008年4～6月の対前年同期比は、20～49床、50～99床の小規模病院および300～399床の病院でマイナスであった。2009年4～6月は、まず200床未満のグループで、病床規模が大きいほど伸び率が大きく、また300床以上のグループでも同様である。2年通算では、400～499床で+6.2%、500床以上で+6.6%であった。



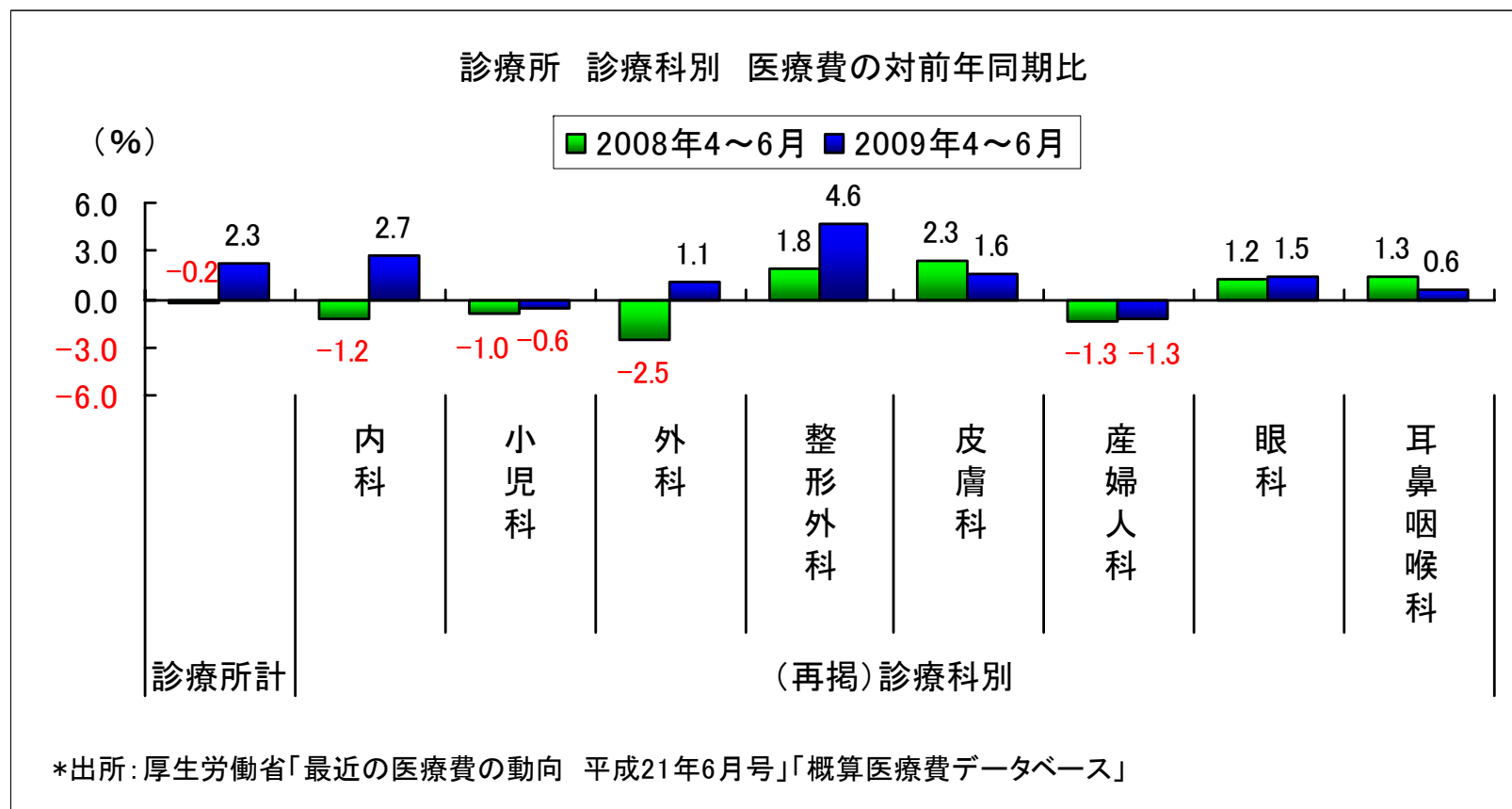
病院の病床規模別1日当たり医療費(対前年同期比)

前年2008年4～6月の対前年同期比は、ほぼ病床規模に比例して、プラス幅が大きくなっていた。2009年4～6月は、前年が低かった分、100床未満の病院が+4%台の伸びである。2年とも、もっとも伸び率が大きかったのは500床以上の病院であり、2年通算では+10.7%であった。



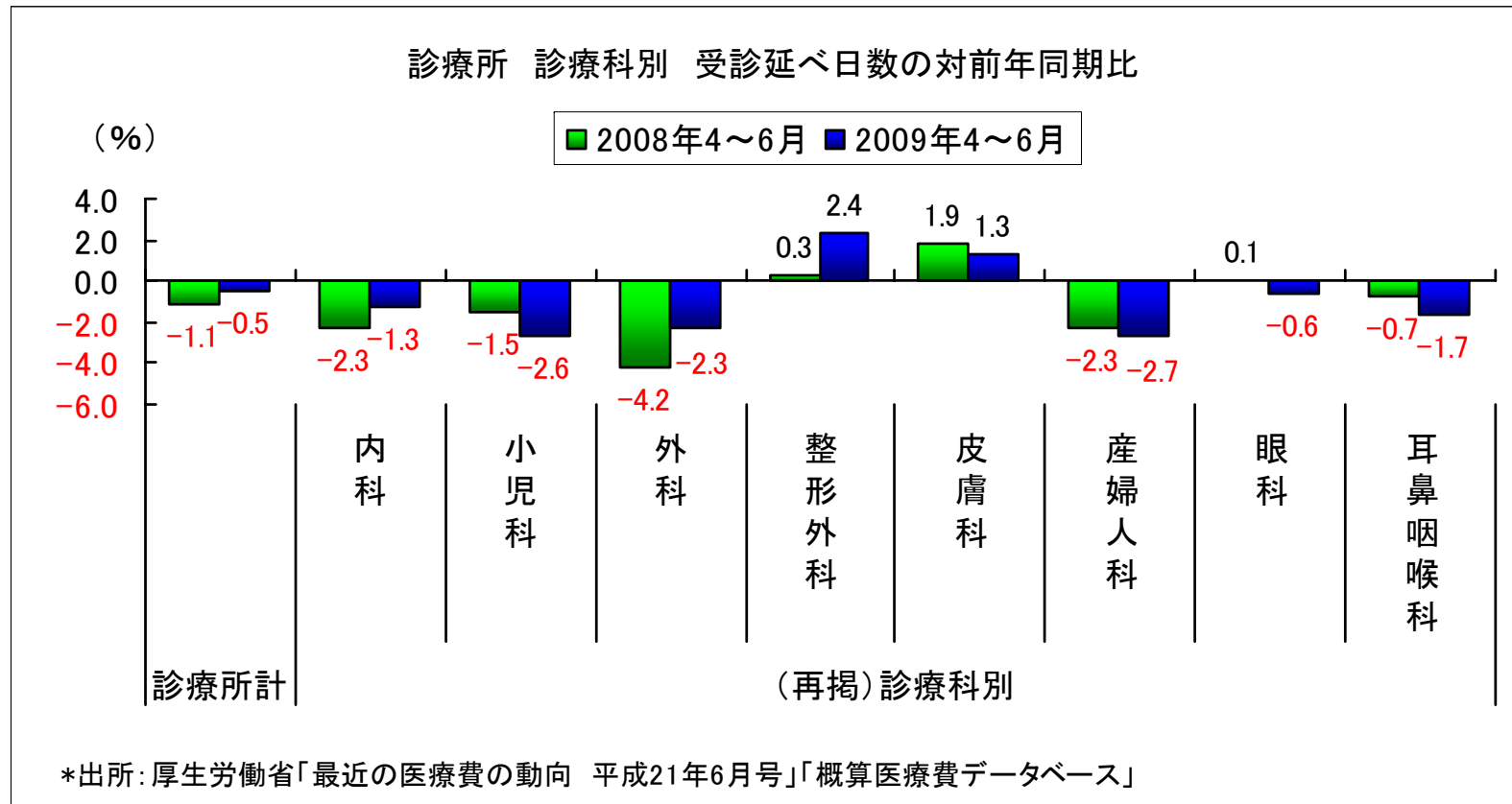
診療所の診療科別医療費(前年同期比)

診療所の診療科別では、2009年4～6月の対前年同期比は、整形外科+4.6%、内科+2.7%の順に高く、内科は2008年のマイナスからプラスに転じた。小児科、産婦人科は、2年つづけて前年比マイナスであった。受診日数が減少している上、1日当たり医療費もほとんど伸びていないためである。



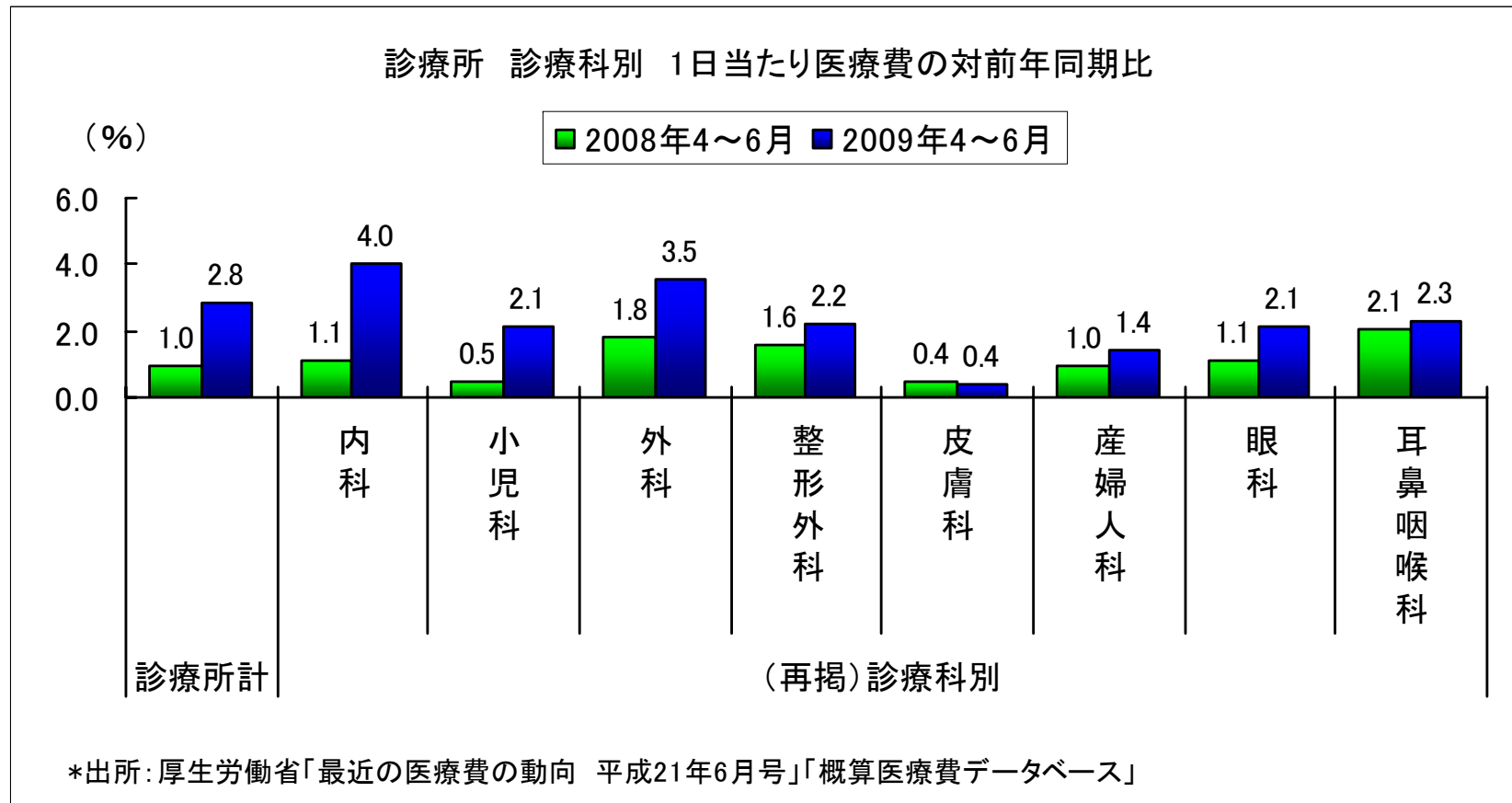
診療所の診療科別 受診延べ日数

休日数等の補正を行っていないため、経年比較ではなく、診療科間の比較でみるが、2009年4～6月にもっとも落ち込んだ診療科は産婦人科、つづいて小児科、外科であった。対照的に整形外科、皮膚科では増加していた。



診療所の診療科別 1日当たり医療費

2009年4～6月の対前年同期比は、内科+4.0%、外科+3.5%であった。小児科は、2008年4～6月も+0.5%に止まっていたが、2009年4～6月も+2.1%と、内科や外科ほどには伸びなかった。産婦人科は、2009年4～6月は+1.4%であり、皮膚科につづいて低かった。



まとめ

2009年度に入ってから、公費単独医療費が大幅に伸びている。医療費の伸びに影響を与えるほどではないが、公費の伸びは、財源や制度のあり方にもかかわってくるので、今後注意したい。

大学病院、公的病院、大規模病院では、2008年の診療報酬改定以降、1日当たり医療費(ほぼ診療報酬に相当)が、通算で約1割上昇していた。

診療所では、産科、小児科の受診延べ日数が減少している。1日当たり医療費も伸びておらず、このままでは淘汰が進むおそれがある。少子化などで患者数が減少しているためであるが、現実に廃止するところが出てくれば、利便性が悪化し、少子化に拍車をかけかねない。

参考: 主要3要素、主要3指標

病院・診療所別の対前年同期比

(%)

		医科総数											
		2008.4-6		2009.4-6		病院		診療所		(再掲)有床		(再掲)無床	
						2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6
医療費	入院	1.8	3.5	1.9	3.6	0.5	-0.7	0.4	-1.1	—	—		
	入院外	-0.6	3.0	-1.2	3.9	-0.2	2.4	-4.3	-1.5	0.8	3.3		
	総数	0.7	3.3	1.0	3.7	-0.2	2.3	-3.4	-1.4	0.8	3.3		
件数	入院	-0.8	0.7	-0.7	1.0	-2.8	-2.9	-2.8	-3.1	—	—		
	入院外	0.1	0.9	-2.7	-0.8	1.3	1.6	-4.0	-2.7	2.4	2.3		
	総数	0.0	0.9	-2.6	-0.6	1.3	1.6	-4.0	-2.8	2.4	2.3		
受診延べ日数	入院	-1.0	0.0	-0.8	0.2	-4.1	-4.8	-4.2	-4.9	—	—		
	入院外	-1.8	-0.8	-3.8	-1.7	-1.1	-0.4	-6.0	-4.5	0.0	0.3		
	総数	-1.6	-0.6	-2.4	-0.8	-1.1	-0.5	-5.8	-4.5	0.0	0.3		
1件当たり医療費	入院	2.7	2.8	2.6	2.6	3.4	2.3	3.3	2.0	—	—		
	入院外	-0.6	2.1	1.6	4.8	-1.5	0.8	-0.3	1.3	-1.5	0.9		
	総数	0.6	2.3	3.7	4.3	-1.4	0.7	0.6	1.4	-1.5	0.9		
1件当たり日数	入院	-0.1	-0.7	-0.1	-0.7	-1.4	-1.9	-1.4	-1.8	—	—		
	入院外	-1.9	-1.7	-1.1	-1.0	-2.3	-2.0	-2.0	-1.8	-2.3	-2.0		
	総数	-1.7	-1.5	0.2	-0.1	-2.4	-2.1	-1.9	-1.8	-2.3	-2.0		
1日当たり医療費	入院	2.8	3.5	2.7	3.4	4.8	4.3	4.8	3.9	—	—		
	入院外	1.3	3.8	2.8	5.8	0.9	2.9	1.8	3.1	0.8	2.9		
	総数	2.3	3.9	3.5	4.5	1.0	2.8	2.6	3.2	0.8	2.9		

病院 医療機関種類別 対前年同期比

(%)

		大学病院		公的病院		法人病院		個人病院	
		2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6
医療費	入院	4.5	6.0	-0.1	3.3	3.5	3.5	-17.0	-3.3
	入院外	4.8	9.1	-3.1	3.5	0.0	3.3	-18.0	-3.3
	総数	4.6	6.9	-1.0	3.4	2.6	3.5	-17.3	-3.3
件数	入院	1.7	3.5	-2.7	0.6	1.1	1.1	-16.8	-6.0
	入院外	0.2	2.0	-5.6	-2.1	-0.0	-0.1	-16.3	-6.7
	総数	0.3	2.1	-5.4	-1.9	0.1	0.0	-16.3	-6.6
受診延べ日数	入院	-0.4	1.5	-3.4	-1.0	1.0	0.9	-14.6	-5.5
	入院外	-0.5	1.0	-6.4	-2.8	-1.8	-1.1	-17.3	-8.3
	総数	-0.5	1.2	-5.1	-2.1	-0.3	-0.0	-16.0	-6.9
1件当たり医療費	入院	2.8	2.4	2.7	2.7	2.4	2.4	-0.2	2.9
	入院外	4.6	7.0	2.6	5.7	0.1	3.4	-2.0	3.6
	総数	4.3	4.7	4.7	5.3	2.6	3.4	-1.1	3.6
1件当たり日数	入院	-2.0	-1.9	-0.7	-1.6	-0.1	-0.2	2.6	0.6
	入院外	-0.7	-1.1	-0.8	-0.8	-1.7	-1.1	-1.3	-1.7
	総数	-0.8	-0.9	0.3	-0.2	-0.3	-0.1	0.4	-0.3
1日当たり医療費	入院	4.9	4.4	3.4	4.4	2.5	2.6	-2.7	2.3
	入院外	5.3	8.1	3.4	6.5	1.8	4.5	-0.7	5.5
	総数	5.1	5.7	4.3	5.6	2.9	3.5	-1.5	3.9

病院 病床規模別 対前年同期比

(%)

	20～49床		50～99床		100～199床		200～299床	
	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6
医療費	-1.6	1.7	-0.3	3.9	1.3	4.4	1.8	2.0
件数	-2.4	-1.0	-2.0	0.5	-1.3	0.6	-1.8	-1.7
受診延べ日数	-4.1	-2.3	-2.8	-0.5	-1.2	0.5	-1.5	-1.1
1件当たり医療費	0.8	2.8	1.8	3.5	2.6	3.8	3.6	3.7
1件当たり日数	-1.7	-1.3	-0.8	-0.9	0.1	-0.1	0.3	0.6
1日当たり医療費	2.6	4.2	2.6	4.4	2.5	3.8	3.3	3.1

(%)

	300～399床		400～499床		500床以上	
	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6
医療費	-1.5	2.9	2.4	3.7	1.8	4.8
件数	-6.2	-2.1	-2.0	-0.6	-2.5	-0.5
受診延べ日数	-4.6	-1.7	-1.2	-0.7	-2.7	-1.0
1件当たり医療費	5.1	5.2	4.5	4.3	4.3	5.3
1件当たり日数	1.7	0.4	0.8	-0.1	-0.3	-0.5
1日当たり医療費	3.3	4.7	3.7	4.4	4.6	5.8

診療所 診療科別 対前年同期比

(%)

	内科		小児科		外科		整形外科	
	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6
医療費	-1.2	2.7	-1.0	-0.6	-2.5	1.1	1.8	4.6
件数	0.4	1.6	-0.6	-1.0	-0.9	0.5	3.9	3.8
日数	-2.3	-1.3	-1.5	-2.6	-4.2	-2.3	0.3	2.4
1件当たり医療費	-1.5	1.0	-0.4	0.5	-1.6	0.7	-2.0	0.8
1件当たり日数	-2.6	-2.9	-0.9	-1.6	-3.3	-2.8	-3.5	-1.4
1日当たり医療費	1.1	4.0	0.5	2.1	1.8	3.5	1.6	2.2

(%)

	皮膚科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科	
	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6	2008.4-6	2009.4-6
医療費	2.3	1.6	-1.3	-1.3	1.2	1.5	1.3	0.6
件数	2.3	2.0	-1.0	-1.0	0.9	0.3	2.7	1.6
日数	1.9	1.3	-2.3	-2.7	0.1	-0.6	-0.7	-1.7
1件当たり医療費	0.0	-0.4	-0.3	-0.3	0.3	1.2	-1.4	-1.0
1件当たり日数	-0.4	-0.8	-1.3	-1.7	-0.8	-0.9	-3.4	-3.2
1日当たり医療費	0.4	0.4	1.0	1.4	1.1	2.1	2.1	2.3